

ゆめだより

第7号



「寒い冬の日、シンビジウム を見学に行きました」

平成 28 年 3 月発行

発行所 社会福祉法人松本ハイランド
〒390-1242 松本市大字和田 2240-33

Tel 40-3377 Fax 40-3370

<http://yumenosato.info>

『シンビジウム』

洋ランの中でも胡蝶蘭に次いで2番目に人気があり、高級な花として知られています。12月～4月ごろに花が咲き、花の寿命は長く2～3ヵ月程度は楽しめます。小型種から大型種までバリエーションが豊富なことも魅力。花言葉は『飾らない心』『素朴』

外はマイナス、気温の低い冬の日でしたが、ハウス内はぽかぽかで、シンビジウムがハウス一面きれいな花をつけていました。寒さでかたかった顔も自然にやわらかな表情に変身しました。

(新村地区 青木さんハウスにて)

第4次中期計画（平成28年度～30年度）を策定

団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて社会保障制度改革が進む中で、法人を取り巻く経営環境は大きく変わっていきます。特に、介護老人福祉施設、通所介護事業所などは、地域連携の拠点施設として地域に向いた支援活動が求められています。また、一定以上の所得、資産所
有利用者における費用負担増のため、利用減などの影響も懸念されます。

経営理念

1. わたしたちは、地域とともに歩み、支え合い、助け合う地域福祉をめざします。
2. わたしたちは、一人ひとりの尊厳を大切にし、自分らしいくらしの実現に向け支援します。
3. わたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ち、より高い目標に向かい、惜しみない努力をします。

基本目標

（ビジョン・・・3年後のあるべき姿）

1. 地域の中で存在感を高めて、安心して頼れる法人を目指します。
2. 良質なサービスの展開により、自分らしい暮らしの実現を支援します。
3. 職員が心身ともに健康で活躍できる職場をつくります。

基本方針

（重点的に取り組む事項）

1. 地域の福祉ニーズを把握し、地域貢献事業・活動を実践します。
2. 利用者の思いのくみ取りと個人の尊厳を守り、サービスの質の向上を図ります。
3. 人財の育成・確保と健康で働きがいのある職場づくりをすすめます。
4. 経営組織機能の強化と改善・改革の経営管理を推進します。

そこで、継続的安定的な事業経営を行うためには、経営理念に基づき各事業の使命・目的・機能を明確にし、取り組むべき課題を具体化し、中長期的な視点をもって計画的に進めていかなければなりません。

また、職員にとっても組織の中長期的ビジョンを共有し、当面の明確なゴールを設定することで全職員が意識を統一して業務に取り組むことができます。

中期計画策定にあたって、施設・事業所アンケートを行い、利用者・家族・ボランティアなどの思い・意向・要望を取り込み、経営内外の環境分析で課題を明確にし、3年後のあるべき姿を確立し、重点的に取り組む事項を設定して目標実現のためのシナリオを策定しました。

第4次中期計画の実現に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。

第4回職員大会が開催される

社会福祉法人松本ハイランド職員としての意識の高揚と仲間の連帯感の醸成を図るとともに、将来に向けて組織の発展と自らの成長を誓うことを目的に、平成27年11月8日にJ A 松本ハイランドグリーンパルにおいて第4回職員大会が開催され107名の職員が参加しました。

職員大会では、高山理事長のあいさつの後、永年勤続者（10年勤続）5名の表彰がおこなわれ、賞状と記念品が贈られました。

引き続き各事業所で事例研究や取り組み事例などをまとめた研究発表を初めて行い、4部署5グループがパワーポイントを使い発表しました。

終了後、軽食の立食形式による交流会にて職場を超えた職員交流がはかられました。

○永年勤続表彰者

多田 綾子（新村宅幼老所）
 杉田 礼子（和田デイサービス）
 三木 千史（朝日宅老所）
 上條 長三（新村宅幼老所）
 古畑 珠美（新村宅幼老所）



研究発表内容紹介

①「ゆめの里和田訪問看護ステーションの現状」

【発表者：訪問看護 鴨田理恵】

訪問看護とは、訪問看護の特徴、訪問場所、活動内容、利用者状況を写真やグラフを入れながら紹介した。

②「養護老人ホームって？」

【発表者：松風園 藤田智子】

養護老人ホームとは、入所の基本的な流れ、特定施設入居者生活介護制度の概要、事例紹介、松風園のあゆみ、状況、クラブ活動の紹介をした。

③「排泄ケアにおける個別ケアについて」

【発表者：朝日特養 花村康明】

全面的に紙オムツへの移行を検討したがコスト高のため、排せつパターンを把握し、個々に合わせたパットを使用することで、コスト削減が期待できることを発表した。

④「口腔内の清掃・維持を目指す」

【発表者：和田特養 佐原充晃】

口腔機能向上委員会の活動内容や口腔内状況表に歯列表を入れ記録を書きやすくした点、利用者に対し取り組んだ事例を発表した。

⑤「入居者の意思と自己決定を尊重した個別ケアの

実現にむけて」

【発表者：朝日特養 中野理恵】

起床ケアの取り組みとして、入居者のペースに合わせてその人の「リズム」で起きていただくことで、入居者一人ひとりにゆとりを持って関わることができたことを発表した。

事業所からこんにちは

特別養護老人ホームゆめの里和田

JA職員の福祉研修を受入れ

JA松本ハイランド27年度新採用職員22名の福祉研修を1月21日と2月4日に受け入れました。

緑のエプロンをかけ、コーヒー喫茶では利用者に寄り添いながら喫茶ボランティアを経験しました。午後からは車イス磨きや布を使いやすくカットしていただきました。その後法人の他施設の見学を行いました。



ゆめの里和田訪問看護ステーション

楽しかった交流会

グリーンケアの一環として、交流会を行いました。

ご家族を亡くされ辛かったと思いますが、皆様お元気で会話も弾み充実した会になりました。中には趣味のフルーツやハーモニカの演奏、写真の展示をして下さる方もおられました。生きがいを持って生活されていることに感心しました。



ゆめの里新村宅幼老所

「わざわざ」作ってみました

今年のお正月は、昔懐かしいお節を作ってみました。昔は作ったけれど最近では買ってきたもので済ますことが多くなっているの
で、「わざわざ」作ってみました。黒豆の煮える匂い、さつま芋の裏ごしをしながら皆で味見をしたり、昔話に花を咲かせながら行いました。

年末に作った鏡餅も鏡開きの時に焼いてからお汁粉にして食べました。昔の行事を再現することで、皆様目が輝いていました。

今年「わざわざ」
と思えることを楽しく行っていたころと思います。



養護老人ホーム松本市立松風園

正月を迎える準備

12月に入ると利用者が中心となり正月を迎える準備を行います。

山や園内の畑から松や竹、稲わらなど材料を集め門松を作ります。25日には餅つきを行い、見学していた利用者から掛け声をいただき、きれいな餅がつきあがりました。ついた餅は鏡餅にして飾りました。



ゆめの里ヘルパーステーション

ヘルパーステーションは今!

2月・・・外はシヨベルカー、クレーン車、トラックなど重機の音が鳴り響いています。ヘルパーステーションが入っています。グリーンパルの駐車場でJA本所新築工事が始まりました。裏口からの出入りは穴を掘った上に橋げたを置いてあり、これがまたスリリング! 8月末には完成予定とか・・・
どんな事務所になるのやら?



ゆめの里朝日宅老所

腰痛・肩こり予防体操

先日、腰痛予防体操の研修を受けました。そこで毎日行う全体体操のメニューに、教わった体操を組み込んでみました。職員も利用者と一緒に体操です。「気持ちいいね」「あ、痛たたたく」いろいろな声が聴こえてきますが、皆でやれば辛い? 体操も続けることができます。体も心も元気になる事を願って皆で頑張っています。



ゆめの里和田デイサービスセンター

「鬼は〜外！福は〜内！」



鬼が意気揚々とやつてきました。利用者を悩ませる肩や腕、足腰を痛くする鬼達。利用者の皆様は「待ってました！」とばかり「鬼は〜外！」と豆を勢いよく投げつけていました。

鬼が退散すると、お福様がきました。健康で福あふれるデイとなりそうです。

ゆめの里和田福祉相談センター

認知症サポーターとしての活動について

11月8日島内地区福祉ひろばにおいて、認知症に対する理解を深め、認知症の高齢者やその家族を手助けしていただく活動に取り組みました。

河西部地域包括支援センターと共同で、認知症についての寸劇を水戸黄門風に行いました。

認知症とはどのような病気なのか、家族に対してどう接すればいいのか。認知症の方への対応をできるかぎり身近なもので感じていただく目的での活動です。日常生活の中でひと場面を笑いを交えながら行いました。

地域の皆様に来ていただいて習字教室を始めました。
習字を続けてこられた方、久しぶりに筆を持つ方それぞれ真剣に筆を運んでいました。指導を受けて作品を仕上げることで、次回の教室が楽しみ！

グループホーム ゆめの里 入山辺

習字教室始めました



特別養護老人ホームゆめの里朝日

家庭介護教室にて講習！

2月26日、朝日村社会福祉協議会主催による家庭介護教室が開かれ、ゆめの里朝日から職員3名が出向き、村民20名に「排泄ケア」「施設入所を考える時」をテーマに講習会を行いました。オムツ交換の基本的な方法や介護者の体の負担を軽くする方法、施設の種類や入所の要件など日々感じている疑問等にお答えしました。

実際に、家庭で介護をされている皆様にはわからないことだらけだったと思いますが、少しでも不安や疑問の解消ができたと感じました。



職員腰痛予防研修を実施

当法人では、職員が健康で楽しく仕事が続けられるよう腰痛予防に取り組んでいます。

毎年、外部講師を招いて開催していましたが、本年は、特別養護老人ホームゆめの里和田職員の赤羽理学療法士が専門的な立場から「腰痛のメカニズム」「腰痛予防ストレッチ」について指導を行いました。

腰痛予防は一朝一夕にはできません。一人ひとりが健康管理の意識をもって日常生活を送り、健康で楽しく長く仕事を続けられるよう今後も様々な取り組みをしていきます。

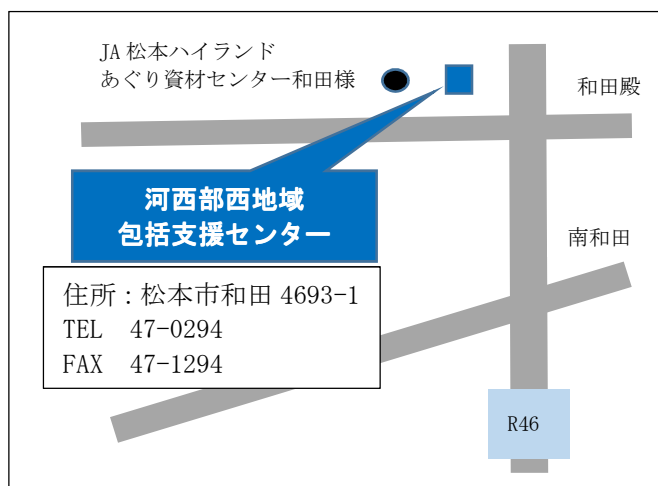


松本市河西部西地域包括支援センター開所

松本市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、平成28年4月から今まで8カ所あった地域包括支援センターを12カ所に増設し、その一つを当法人が受託し運営する事となりました。主な業務は、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などです。担当地区は和田、新村、梓川地区となります。職員は主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士を配置し、それぞれの専門性を活かし連携しながら、国の目指す「地域包括システム」の構築をしていきます。高齢者福祉の総合相談窓口ですので、お気軽にご相談ください。



案内図



「買物送迎ボラ」利用者会員募集中!

ゆめの里和田では、JA和田支所と共同で、和田地区の元気な高齢者で買物に不便を感じている皆様を対象に、自宅から店舗まで送迎する「和田地区買物支援活動」を平成28年4月から行います。

送迎希望者は、JA和田支所へ年会費2,000円を添えて申込むことで会員になることができます。

週1回午前中に、近くにある左記店舗（1日1店舗）へ送迎します。

※ 問い合わせ

ゆめの里和田（TEL 40-3377）

までお願いします。

（送迎予定店舗）

○ JA朝日支所生活店舗（朝日村）

○ ファーマーズガーデンやまがた（山形村）

○ 畑の彩り館きろろ（松本市波田）

○ アイシテイ21（山形村）

○ アップランド（松本市梓川）



※編集後記：

寒かった冬も終わり、やっと春らしく太陽の日差しにも温かなぬくもりを感じます。

3月は第3次中期計画の終了月。しっかり総括・反省をおこない、4月から始まる第4次中期計画（H28～H30）の実現に向け、取り組んでいきたいと思ひます。